

愛知県（愛知県）

R5補正
R6当初

43

背景・課題

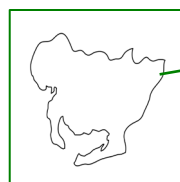
愛知県は全国有数のイチジク生産県であるが、長年の肥培管理によるリン酸、カリが過剰に蓄積した園が多く見られる。一方で、最近の世界情勢の影響により肥料価格が高騰しており、肥料コストの低減が求められている。こうしたことから、現地においては栽培特性に合わせた施肥量削減が求められている。また、せん定作業は次期作に向けた重要な作業であるが、ハサミでの作業は体力的な負担が多く、その軽労化も求められている。

成果目標

肥効調節型肥料の活用による化学肥料使用量削減と省力化、電動のこぎり（レシプロソー等）の活用によるせん定の軽労化について調査し、グリーンな栽培マニュアルとして取りまとめて情報発信する。各産地の施肥暦、栽培暦に反映させ、本県イチジク産地への普及を目指す。

主な取組内容

- 肥効調節型肥料の活用による化学肥料使用量の削減及び施肥作業の省力化を検証
- 電動のこぎり（レシプロソー等）の利用によるせん定作業の軽労化を検証



愛知県全域

構 成 員

愛知県農業水産局農政部農業経営課、愛知県農業総合試験場、普及指導センター

【関係機関】農業者、農協、愛知県経済農業協同組合連合会

品 目

いちじく



試験場研究員と普及指導員で樹勢や葉色の見方について討議



JAあいち経済連との情報交換



左：レシプロソー



右：ハンディチェーンソー
（せん定省力化に利用）



レシプロソーの使用状況

普及に向けた取組

現在のところ、肥料成分量を削減しても慣行肥料と同等の生育を確保できている。肥培管理に関する実証のため、令和5年度から令和7年度までの3年間の試験を予定している。次年度は、実証試験を5か所から7か所に拡大する予定。

せん定の省力化については、令和5年度にレシプロソーでの実証を行ったが、作業性が悪かったことから、令和6年度以降、ハンディチェーンソーで実証を実施している。

問い合わせ先

愛知県農業総合試験場普及戦略部技術推進室

TEL：0561-41-8966、e-mail：nososi@pref.aichi.lg.jp